La Pioggia (雨)

[解説] (Wikipedia 等より抜粋、編集)

La Pioggia (「雨」) はイタリアのポピュラー音楽の歌手、ジリオラ・チンクェッティ (Gigliola Cinquetti, 1947年12月20日生まれ) によるヒット曲。1969年のサン・レモ音楽祭の入賞曲でもある。

チンクェッティは、1964年、16歳の時にサンレモ音楽祭で Non Ho L'età(「夢みる想い」)を歌い優勝。 さらに 1966年 18歳のときに『愛は限りなく』で2回目の優勝。 当時カンツォーネ・ブームの日本では、チンクェッティは本国イタリアを凌ぐ人気となり、また、伊東ゆかり、弘田三枝子などの日本人歌手が彼女の曲をカヴァーしている。結婚、育児に専念後、1989年のサンレモ音楽祭に出場を契機に完全に復帰、1990年にはデビュー25周年ツアーを欧州で行った。

チンクェッティは La Pioggia の日本語の録音も残している。また、1999 年にはトヨタ自動車「ヴィッツ」の初代コマーシャルソングソングとしても La Pioggia が使われた。

[詩および日本語訳例] (関連サイト上の翻訳諸例をベースに編集)

Sul giornale ho letto che 新聞で読んだけど il tempo cambiera' 天気が変わるらしい le nuvole son nere in cielo e 黒い雲が空にある

che i passeri lassu' 頭上の雀は non voleranno piu' もう飛ばない

chissa perhche どうしてだかわからない

Io non cambio mai 私は変わらない no, non cambio mai 決して変わらない

Puo' cadere il mondo ma世界が落ちることがあってもma che importa a me私にはそんなことはどうでもいい

La pioggia 雨は

non bagna il nostro amore 私たちの愛を濡らすことはない

quando il cielo e' blu 空さえ青ければ

La pioggia

La pioggia non esiste se mi guardi tu Butta via l'ombrello, amor, che non serve piu'

non serve piu' se ci sei tu

雨.

あなたが私を見守っていてくれたら、雨など存在しない どうか傘を捨てて、もう役に立たないのだから 傘なんかもう役に立たない、あなたさえいれば

Il termometro va giu'

温度計は下がっていく

(注:楽譜上のtermomentroはtermometroの誤植と思われる)

太陽は消える

冬は皆にとって恐怖だけど 私の中では炎が燃えている 消すことのできない炎が

il sole se ne va l'inverno fa paura a tutti ma c'e' un fuocco dentro me che non si spegnera lo sai perche どうしてだかあなたは知っている

Io non cambio mai私は変わらないno, non cambio mai決して変わらない

Puo' cadere il mondo ma世界が落ちることがあってもma che importa a me私にはそんなことはどうでもいい

La pioggia 雨は

non bagna il nostro amore 私たちの愛を濡らすことはない

quando il cielo e' blu 空さえ青ければ

La pioggia

La pioggia non esiste se mi guardi tu Butta via l'ombrello, amor, che non serve piu'

non serve piu' se ci sei tu

雨..

あなたが私を見守っていてくれたら、雨など存在しない どうか傘を捨てて、もう役に立たないのだから 傘なんかもう役に立たない、あなたさえいれば

La pioggia 雨は

non bagna il nostro amore 私たちの愛を濡らすことはない quando il cielo e' blu 空さえ青ければ

quando il cielo e' blu 空さえ青ければ il cielo e' blu 空さえ青ければ

(文責 後藤、2010.8)